

寅さん歩 その 23

東京の博物館めぐりー7

千代田区ー1



平野 武宏

今回は徳川家康の江戸開府以来、首都となった千代田区の博物館です。右上の写真は千代田区にある昔、江戸城、今、皇居です。多くある博物館(記念館・資料館・展示館等の総称とします)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。博物館の多くは内部の撮影が禁止となっています。詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。現在、臨時休館中の博物館も多くありますので、訪問の場合は確認してください。寅次郎は休館になる前に訪問しました。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。

東京 2020 オリンピック聖火リレー 神奈川県コースのバーチャルウォークの進捗状況も報告します。

【科学技術館】千代田区北の丸公園 2-1 最寄駅 東西線 竹橋駅 1b

日本科学技術振興財団により 1964 年(昭和 39 年)4 月 10 日開館。開館式に昭和天皇と香淳皇后が行幸されました。2 階から 5 階までの 4 つのフロアーに、約 20 のテーマの展示室があり、展示物を触ったり、動かしたりしながら、科学に触れることが出来ます。実験ショーや工作教室などの体験型プログラムもあります。小学生等の団体とかち合った場合には再入場が出来ますので、しばらく外で時間をつぶすことをお勧めします。写真下左は建物、下右は入口です。開館時間は 9 時 30 分~16 時 50 分、休館日は一部の水曜日(祝日の場合は翌日)と年末年始。学校の長期休み期間などの水曜日は開館。入場料は大人 880 円、65 歳以上 790 円、中・高校生 500 円、子供(4 歳以上)400 円です。



〔国立公文書館〕 千代田区北の丸公園 3-2 最寄駅 東西線 竹橋駅 1b

明治期から現代に至る、国の政策決定に関する重要な公文書等を保存するため総理府附属機関として、1971年(昭和46年)に開館。科学技術館の隣にあります。写真右は建物で入口を入ると右手は常設展示「日本あゆみ」、左手は企画展で「初づくし 初にまつわる江戸時代の行事・風習」です。写真下左は常設展示の「日本の歩み」の入口と写真下中は新元号発表した時に掲げられた「令和(元号)」の書です。展示物はいずれも複製とのこと。写真下右は訪問時の企画展の案内チラシです。開館は9時15分～17時、休館日は月曜日、日曜日、年末年始(12月28日～1月4日)、祝日です。



〔靖国神社 遊就館〕 千代田区九段北 3-1-1

最寄駅 東西線 九段下駅 1番



靖国神社境内に併設された1882年(明治15年)開館の日本最古の軍事博物館です。写真右はパンフレットです。

館名は中国の古典「荀子」勸学篇に由来とのこと。開館は9時～16時30分、年中無休(6月末・12月末に臨時休館日あり)拝観料は大人1000円、大学生500円、中・高校生300円です。寅次郎、戦争のない世の継続を祈りました。

〔昭和館〕 千代田区九段南1-6-1 最寄駅 東西線 九段下駅4番

国民が経験した戦中・戦後の生活に係わる歴史的な資料・情報を収集、保存、展示し、労苦を次世代に伝えるため、1999年(平成11年)3月に設立された厚生労働省所管の国立博物館です。7階は戦中のくらしの常設展示室、6階は戦後のくらしの常設展示室、5階は映像・音響室、4階は図書室で関連した文献や資料が閲覧できます。開館は10時～17時30分、休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始です。常設展示室入場料は大人300円、65歳以上270円、高校・大学生150円、中学生以下は無料。団体(20名以上)割引あります。写真下左は入口、下右は案内チラシです。



〔しょうけい館 (戦傷病者史料館)〕 千代田区九段南1-5-13

最寄駅 東西線 九段下駅6番

2006年(平成18年)厚生労働省が設置した日本の戦傷病者史料館で、九段下駅脇の「九段生涯学習館」の裏手にあります。館名は「承継」の意味で、戦傷病者とその家族が戦時中・戦後に体験した様々な労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供しています。訪問時の企画展は「武良茂(水木しげる)の人生」が開催されていました。

漫画家・妖怪研究者として著名な水木しげる（本名 武良茂）氏は、南方ラバウルで片腕を失った傷痍軍人としても、広く知られています。

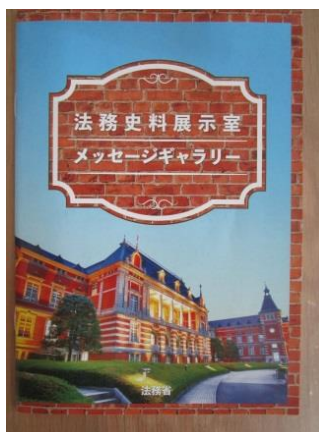
開館は10時～17時30分、休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始です。戦争に絡む3つの博物館を訪問して、平和の有難さ・大切さを大いに感じた寅次郎でした。写真下左は入口、下右は案内チラシです、



【法務史料展示室 メッセージギャラリー】

千代田区霞が関1-1-1 法務省赤レンガ棟 最寄駅 有楽町線 桜田門駅5番

赤レンガ棟（写真下左）は1895年（明治28年）完成の旧法務省本館で、現在も法務省が一部使用。入門時に見学エリアの説明がありました。写真下中はパンフレットで日本の司法制度の歴史が学べます。写真下右は裁判員制度の広報キャラクター「サイバンインコ」です。



公開は月～金曜日（土・日・祝等はお休み）、10時～18時です。目の前には「警視庁」や「桜田門」があります。

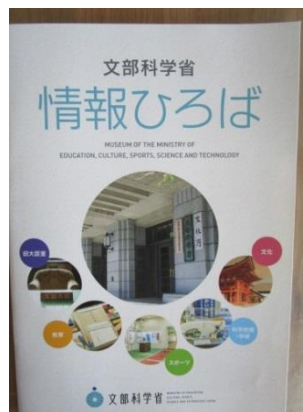
〔文部科学省 情報ひろば〕 千代田区霞が関 3-2-2 旧文部省庁舎内

最寄駅 銀座線 虎ノ門駅 11 番直結

旧文部省庁舎（登録有形文化財）（写真下左）を活用した文部科学省のミュージアム情報発信スペースです。3階の展示室では、旧大臣室（写真下右）が見学できる他、教育、スポーツ、科学・学術、文化など文部科学行政についての展示があります。寅次郎、省内にこんな施設があることを知りませんでした。



写真下左は展示室案内板、下右はパンフレットです。開館は 10 時～18 時、休館日は土曜、日曜、祝日、年末年始です。



〔こぼれ話〕 旧江戸城 清水門

千代田区北の丸公園内



千代田区役所前にあり、寅次郎、今回初めて「清水門」を入りました。北の丸北東部に位置する枡形門で、「高麗門」（写真上左）と右手奥の「櫓門」（写真上右）からなります。門の創建時は明らかではありませんが、高麗門の金具などから1658年（万治元年）に建てられたものと考えられるとのことで、国の重要文化財（建造物）です。門を入れて進むと北の丸公園内の「科学技術館」の裏手に出ます。公園内にありますので、入門時の手続き等はありません。

〔バーチャルウォーク途中報告〕

八柳修之さんの東京2020オリンピック聖火リレー神奈川コース（380km）と東京都コース（160km）のバーチャルウォークがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されました。寅次郎、1月30日 神奈川コースの箱根町をスタート、伊勢原市、小田原市、大磯町、平塚市、茅ヶ崎市、藤沢市、三浦市、横須賀市、鎌倉市を經由して3月31日海老名市中央公園（266km地点）に到着しました。次は厚木市へ向かいます。神奈川コースの後には東京都コースに挑戦します。



東京2020オリンピック・パラリンピックは来年に延期となり、聖火リレーは中止となりましたが、バーチャルウォークの聖火リレーは健在です。しばらくは新型コロナウイルスの感染拡大防止で例会が中止になりますので、マイコースのお散歩の距離を累計して楽しむ、バーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には多くのバーチャルコースが掲載されています。集団で歩かないYRコースもお勧めですが、人が密集する交通機関利用や時間帯は避けてくださいね。

次回は 東京の博物館めぐり-8 です。

平野 寅次郎 拝